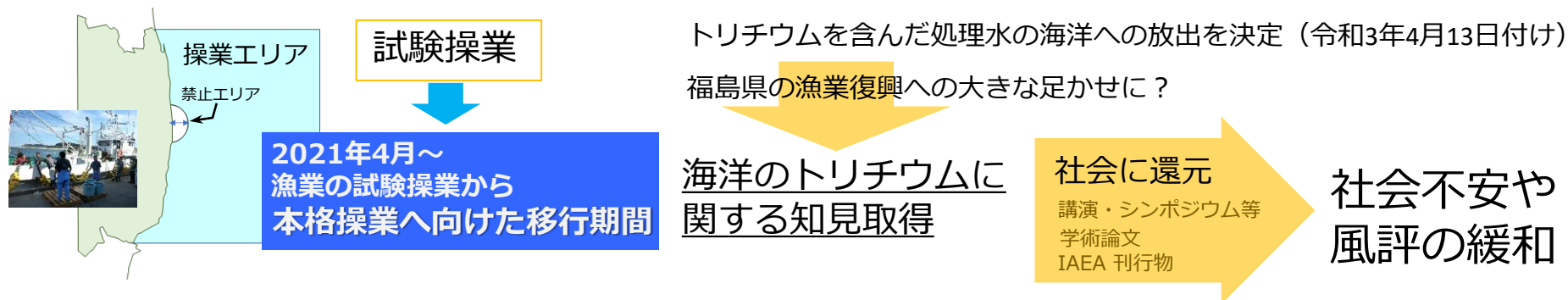




【foR-Aプロジェクト】 原発周辺の沿岸生態系におけるトリチウムモニタリング基盤の構築と 動態解明

(環境放射能研究所：和田敏裕（代表）・高田兵衛)

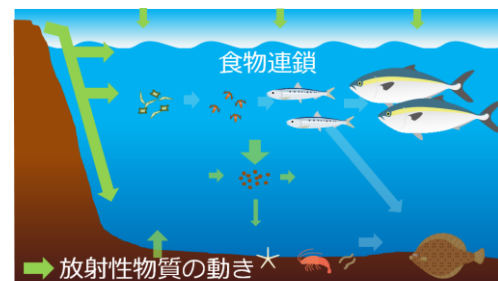
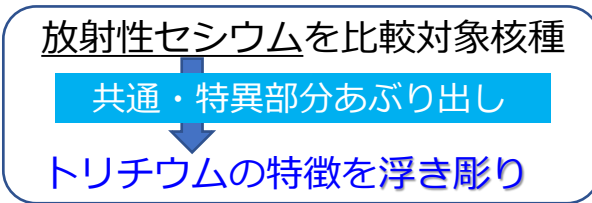
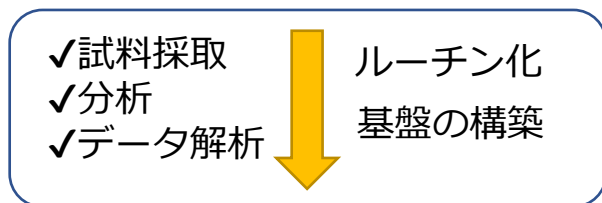
福島県の地域課題：福島漁業復興の加速にむけて



課題遂行：トリチウム動態，沿岸生態系トリチウム濃度推定

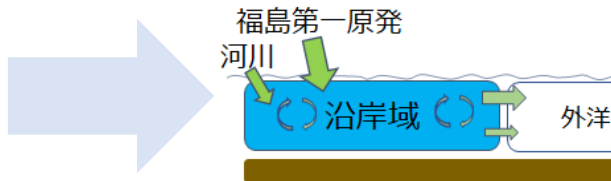
(1) 原発周辺海域での海洋沿岸生態系におけるトリチウムおよび動態解析

- ・モニタリング基盤の構築
- ・トリチウム動態解明



(2) 処理水の海洋放出を想定した沿岸生態系濃度推定

放射性セシウムで適用
した移行モデル



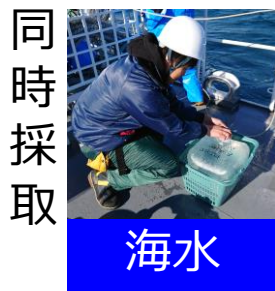
トリチウムの影響の
多寡を推定評価

漁業・地域復興促進へ貢献・期待される成果等

海産生物のみならず、
その生息環境の海水にも着目



海産生物



同時採取

海水



沿岸生態系の
トリチウム
動態研究

知見の豊富な
放射性セシウムを比較対象

充実した放射性セシウムの研究基盤
トリチウムの特徴を浮き彫り



社会に還元
シンポジウム
研究懇談会
査読付き
ジャーナル

・ 社会不安や
風評の緩和
・ 漁業復興促進

福島大学の
浜通り地域への
利便性

トリチウム
に対する正確な
科学情報発信

IAEAとの連携
例：MODARIA II
(2015～2019年) 参画
成果物
IAEA_TECDOC Series 1927：
福島第一原発事故後の海洋、農
業、森林に特化し、モデルパラ
メータの取得、チェルノブイリ
では経験しえなかった事象を技
術報告書として取りまとめ

foR-Aによる推進

福島県の漁業や地域の復興に大きく貢献

MODARIA:
Modelling and Data
for Radiological
Impact
Assessments